



東証二部上場

証券コード

[3198]

平成29年2月期第1四半期決算 (補足資料)

SFPダイニング株式会社



平成28年7月13日

1. 平成29年2月期第1四半期業績 . . . P 3

2. 平成29年2月期業績見通し . . . P14

3. 中期経営計画 . . . P18

決算期変更

事業年度を毎年3月1日から翌年2月末日までの期間に変更いたしました

当社は経営全般にわたって、より効率的な事業運営を図ることを目的として、親会社である株式会社クリエイト・レストランツ・ホールディングスの事業年度と同様の期間に変更いたしました。

前々期

平成27年9月期

平成26年10月1日から
平成27年9月30日まで

12ヶ月

前期

平成28年2月期

平成27年10月1日から
平成28年2月29日まで

5ヶ月

当期

平成29年2月期

平成28年3月1日から
平成29年2月28日まで

12ヶ月

本資料内において、当社の現況を分かりやすくお伝えするため、前年同月期間（平成27年9月期の平成27年3月～5月）と比較した数値を掲載しておりますが、この数値は未監査の為、あくまで参考値となりますことをご了承ください。

1. 平成29年2月期第1四半期業績

(1) 業績ハイライト

単位：百万円／下段は構成比

	第1四半期 実績	前年同月期間 平成27年3～5月	増減額	増減率
売上高	8,932 (100.0%)	7,477 (100.0%)	+1,455	+19.5%
経常利益	936 (10.5%)	985 (13.2%)	▲49	▲5.0%
当期純利益	495 (5.5%)	—	—	—

※ 前年同月期間の数値は未監査のため、参考値となります。

- 新規出店は通期出店計画41店舗に対し、第1四半期で18店舗を出店（進捗率43.9%）主力業態である磯丸水産を東京中心に首都圏(駅前・郊外)・大阪に13店舗出店。また、第二の柱となる鳥良商店を4店舗、きづなすしを1店舗出店。
- 新規出店のペースは前年同月期間に比べ+5店舗。その開業経費負担と優待引当増、協賛金収入の減少により経常利益は▲49百万で推移。
- 既存店売上高は前年同月比▲7.5%で推移。
- 全社ベースでの原価率は前年同月比+0.4%で推移

(2) 売上高の内訳

成長ドライバーの磯丸水産が増収を牽引

単位：百万円

	前年同月期間 平成27年3～5月		平成29年2月期 第1四半期			
					前年同月比	増減額
売上高	7,477	100.0%	8,932	100.0%	+19.5%	+1,455
鳥良	1,494	20.0%	1,869	20.9%	+25.1%	+375
磯丸水産	5,541	74.1%	6,437	72.1%	+16.1%	+896
その他	441	5.9%	626	7.0%	+41.9%	+185

※ 前年同月期間の数値は未監査のため、参考値となります。

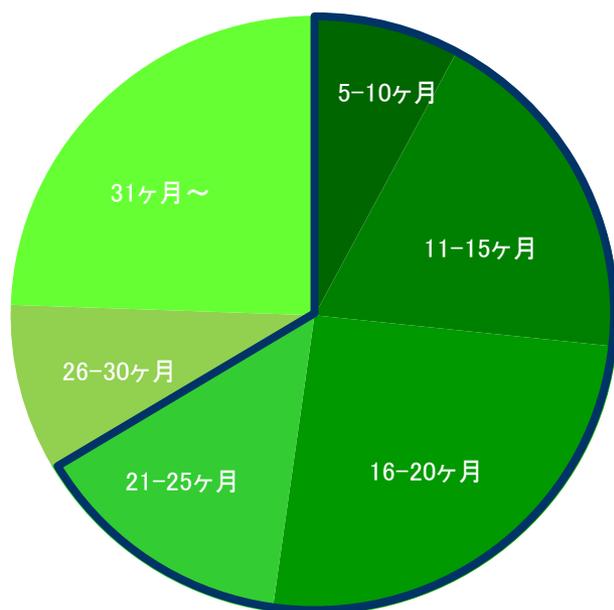
	3月	4月	5月	第1四半期
既存店前年比	92.3%	94.2%	91.0%	92.5%

- 鳥良事業は鳥良商店を4店舗出店したことにより事業全体での売上は増収。既存店前年比は▲2.3%
- 磯丸水産事業は積極的な新規出店の継続、および前期開業店舗の通期寄与により増収。既存店前年比は開業景気の影響もあり▲10.3%
- その他事業では「きづなすし」4号店「横浜西口南幸店」を3月に開業。

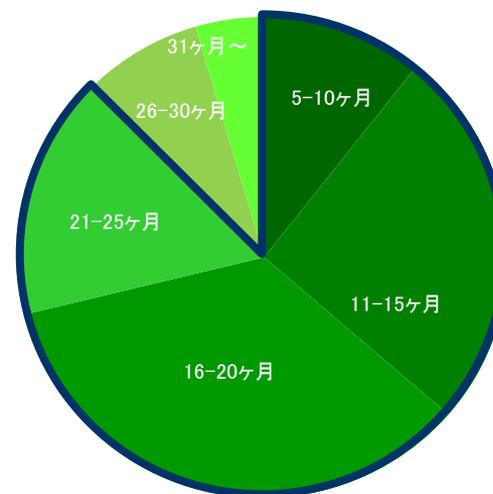
(3) 磯丸水産の投資効率

高い開業景気の影響により既存店の売上変動あるものの、投資回収効率は今後も維持できる見通し

初期投資回収状況
既存店90店舗（回収見込店舗含む）



既に投資回収済みの66店舗



- 一般的な投資回収期間は保証金を除外して計算するが、保守的に保証金を含めて回収期間を算出
- 見込店舗を含む投資回収期間は平均2.0年程度

- 投資回収済の店舗では平均1.5年程度

(4) 当社の取組み(1/3)

お客様満足度の向上と効率的な運営の実施

各店舗ごとにフェアを実施することで
集客力・リピート率の向上を企図



- 「磯丸水産の雨の日クーポン
(雨が降れば割引)」を実施

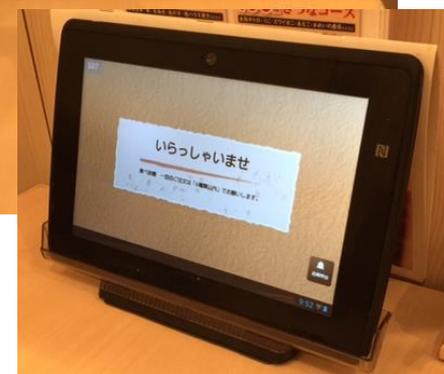
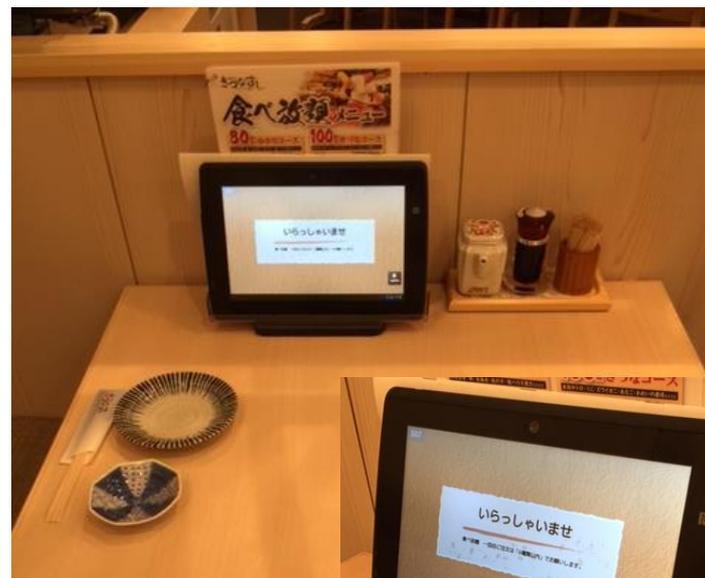
大人気!週末の
じゃんけん大会
で盛りあがろう。

勝ったら半額!

- 「磯丸水産のじゃんけん大会
(従業員に勝つと割引)」を実施

※フェアの実施は各店舗によって異なります

タッチパネル式オーダーシステムを導入



- お客様へのサービス向上、および効率的な
運営の実施を企図

(5) 当社の取組み(2/3)

店舗リニューアルを随時検討し、新鮮味のある空間演出を行う

鳥良原宿店を鳥良商店へ業態転換



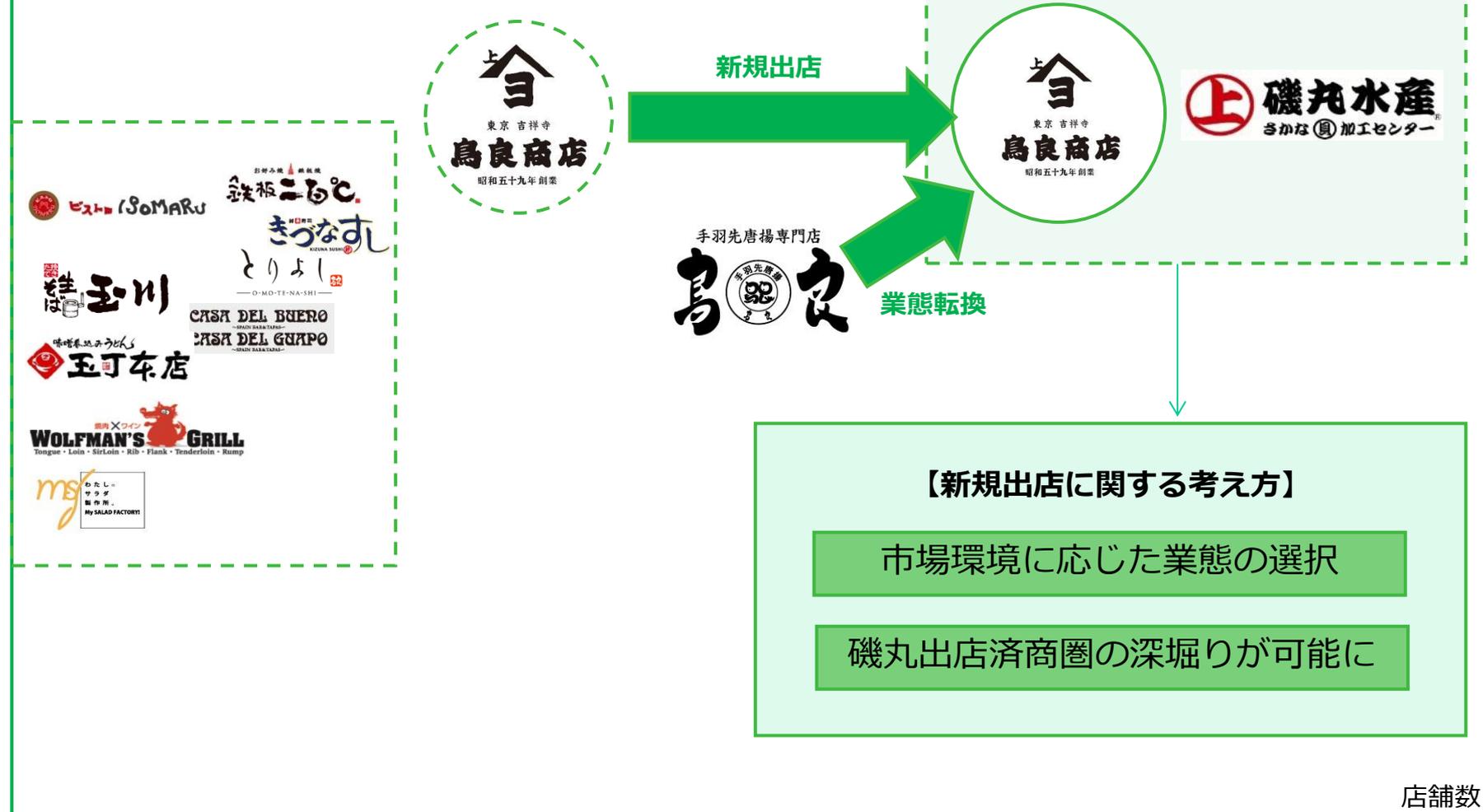
鳥良二子玉川店を更に居心地の良い空間へ改装



(6) 当社の取組み(3/3)

鳥良商店を磯丸水産に次ぐビッグブランドに育成

収益性



店舗数

(7) 店舗展開の状況

新規出店は出店計画を上回るペース

	(事業別)			合計	(地域別)			
	鳥良	磯丸水産	その他		東京 23区内	東京 23区外	首都圏 (東京以外)	関西圏 中部圏
平成28年2月末	40	120 (3)	13	173 (3)	89	21	50	13 (3)
出店 (a)	+4	+13	+1	+18	6	5	6	1
業態転換	0	0	0	0	0	0	0	0
閉店	0	0	0	0	0	0	0	0
平成28年5月末	44	133 (3)	14	191 (3)	95	26	56	14 (3)
平成29年2月期 通期出店計画 (b)	+5	+35	+1	+41	通期出店計画41店舗に対し18店舗出店(進捗43.9%)。既に 出店決定済 の店舗数は 31店舗 で順調に推移			
(a)/(b)	80%	37%	100%	43.9%				

※ () 内はFC店舗数で外数になります。

(8) 新規出店の状況

首都圏(繁華街、郊外、ビジネス街)・関西圏への積極的な出店

【平成29年2月期第1四半期の出店数】

鳥良商店： 4店
磯丸水産： 13店
その他： 1店

合計： 18店

<東京都>

東大和市駅前店
(磯丸水産)

上石神井南口店
(磯丸水産)

町田中町店
(鳥良商店)

赤坂見附店
(磯丸水産)

花小金井北口店
(磯丸水産)

浅草すしや通り店
(鳥良商店)

祖師ヶ谷大蔵駅前店
(磯丸水産)

祐天寺駅前店
(磯丸水産)

JR町田駅ターミナル口店
(鳥良商店)

東久留米北口駅前店
(磯丸水産)

大塚北口店
(磯丸水産)

<大阪府>

堺東駅前店
(磯丸水産)

<神奈川県>

JR相模原南口駅前店
(磯丸水産)

横浜鶴屋町店
(磯丸水産)

追浜駅前店
(磯丸水産)

横浜西口南幸店
(鳥良商店)

横浜西口南幸店
(きづなすし)

<千葉県>

松戸西口駅前店
(磯丸水産)



(9) 損益計算書の概要

積極的な新規出店により増収を達成

単位：百万円／下段は構成比

	前年同月期間 平成27年3～5月	実績	平成29年2月期 第1四半期		
			前年同月比	増減額	概要
売上高	7,477 (100.0%)	8,932 (100.0%)	+19.5%	+1,455	鳥良事業 +375 磯丸事業 +896 その他事業 +185
売上総利益	5,386 (72.0%)	6,395 (71.6%)	+18.7%	+1,009	原価率の高い磯丸水産の売上高構成比増により ▲0.4%で推移
販管費	4,490 (60.0%)	5,523 (61.8%)	+23.0%	+1,033	
営業利益	896 (12.0%)	872 (9.8%)	▲2.7%	▲24	前年同月期間に比べ+5店舗の新規出店。 その開業経費負担と優待引当増、協賛金収入の 減少により経常利益は▲49百万で推移。
経常利益	986 (13.2%)	936 (10.5%)	▲5.0%	▲49	
当期純利益	- -	495 (5.5%)	-	-	

※ 前年同月期間の数値は未監査のため、参考値となります。

(10) 貸借対照表の概要

単位：百万円／下段は構成比

		平成28年2月期末	平成29年2月期 第1四半期	
			前期末増減額	主な増減要因
資産	流動資産	10,362 (44.3%)	10,486 (43.4%)	+124 現預金▲3,955 有価証券▲2,000 関係会社貸付金+6,000
	固定資産	13,071 (55.7%)	13,669 (56.6%)	+597 有形固定資産+581 敷金及び保証金+117 積極的な新規出店
	資産合計	23,434 (100.0%)	24,156 (100.0%)	+721
負債	流動負債	3,775 (16.1%)	4,368 (18.1%)	+592 買掛金+157 賞与引当金+109 その他+281
	固定負債	1,007 (4.3%)	882 (3.6%)	▲125 長期借入金▲36 その他▲99
	負債合計	4,783 (20.4%)	5,251 (21.7%)	+467
純資産合計		18,650 (79.6%)	18,904 (78.2%)	+254 利益剰余金+232
負債・純資産合計		23,434 (100.0%)	24,156 (100.0%)	+721

2. 平成29年2月期業績見通し

(11) 平成29年2月期業績予想

平成28年4月13日公表の業績予想から変更なし

平成29年2月期 業績予想

今期の取り組み

単位：百万円／下段は構成比

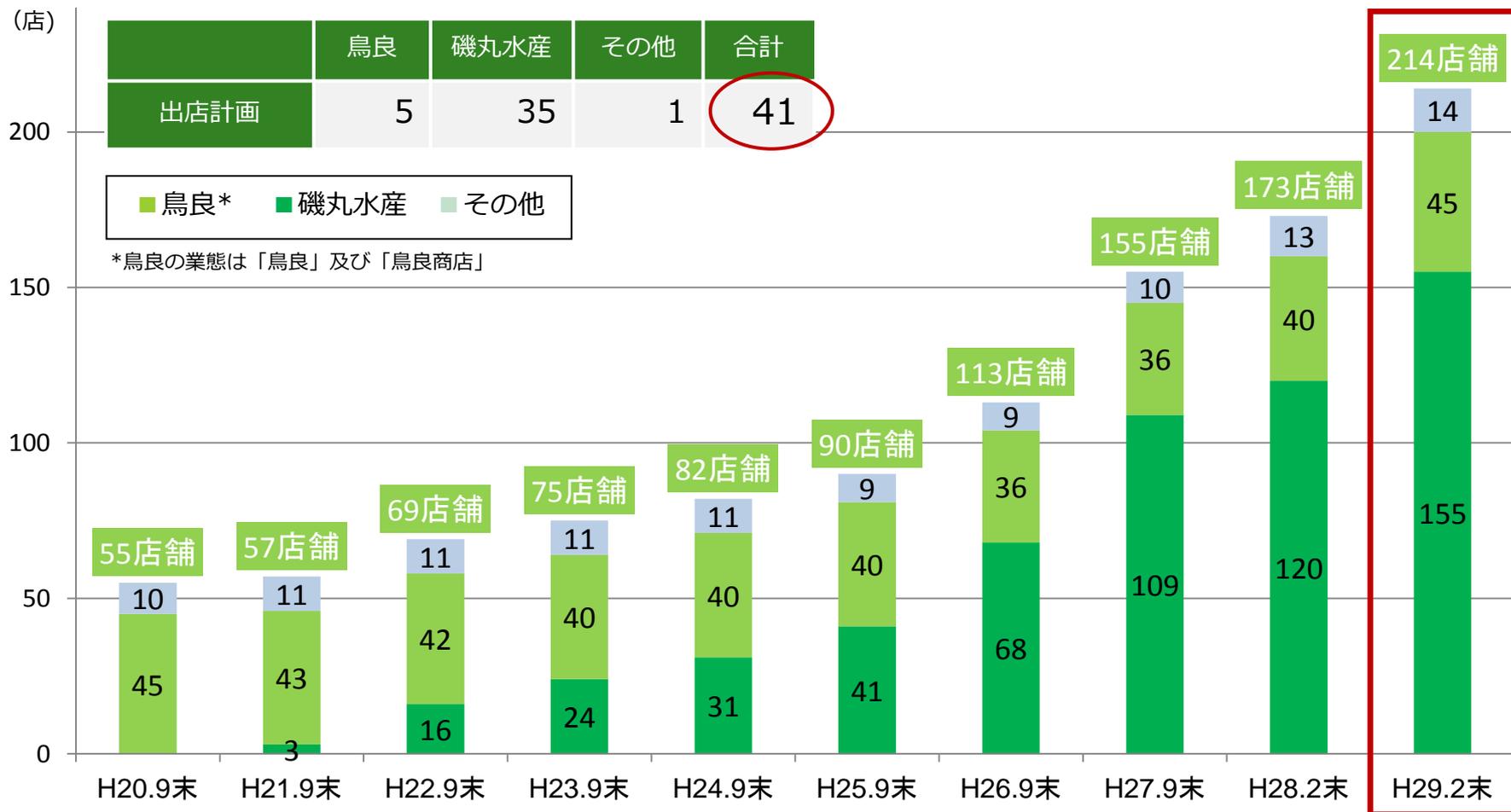
	平成27年3月～ 平成28年2月 実績	平成29年2月期（予想）		
		第2四半期	通期	前年 同月比
売上高	31,697 (100.0%)	18,092 (100.0%)	38,300 (100.0%)	+20.8%
売上総利益	22,754 (71.8%)	12,945 (71.5%)	27,395 (71.5%)	+20.4%
販売費及び 一般管理費	19,163 (60.5%)	11,463 (63.4%)	23,565 (61.5%)	+23.0%
営業利益	3,590 (11.3%)	1,481 (8.2%)	3,830 (10.0%)	+6.7%
経常利益	3,905 (12.3%)	1,616 (8.9%)	4,100 (10.7%)	+5.0%
当期純利益	-	1,033 (5.7%)	2,590 (6.8%)	-

- 新規出店の継続。磯丸水産を中心に、好調な鳥良商店も5店舗出店
- 新業態のトライアルを継続し、収益機会の多様化を図る
- 出店に伴う人員の確保に向け、中途採用の拡充、新規学卒者の安定的な採用、地方採用、媒体数の拡大等、採用チャネルを増加。また、社内アルバイトからの登用を拡大し、定数を確保
- 社員の階層に合わせた研修プログラムの開発・実施、パートアルバイト教育の強化
- 運営状況を踏まえて、店舗のスクラップ&ビルドを慎重に実施する

(注) 平成27年3月～平成28年2月の数値は未監査のため、参考値となります

(12) 平成29年2月期出店計画

年間40店程度の出店ペースを継続



(13) 株主還元

配当

- 配当性向30%程度を目安に実施いたします

	1株当たり	配当性向
平成27年9月期末 (12ヶ月)	20.0円	26.7%
平成28年2月期末 (5ヶ月)	9.0円	28.4%
平成29年2月期 (12ヶ月) 予想	中間 : 13.0円 期末 : 13.0円 合計 : 26.0円	29.3%

株主優待

- SFPダイニング株式会社
各店舗でご利用いただける
「お食事券」を年2回、贈呈
- 毎年2月末日及び8月31日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式を100株以上保有の株主様が対象



保有株式数	株主優待券 (1回当たり)
100株～499株	4,000円
500株～999株	10,000円
1,000株以上	20,000円

3. 中期経営計画

(14) 中期経営計画 (数値目標)

3年後の平成31年2月期に売上高500億円、経常利益53億5千万円を目指す

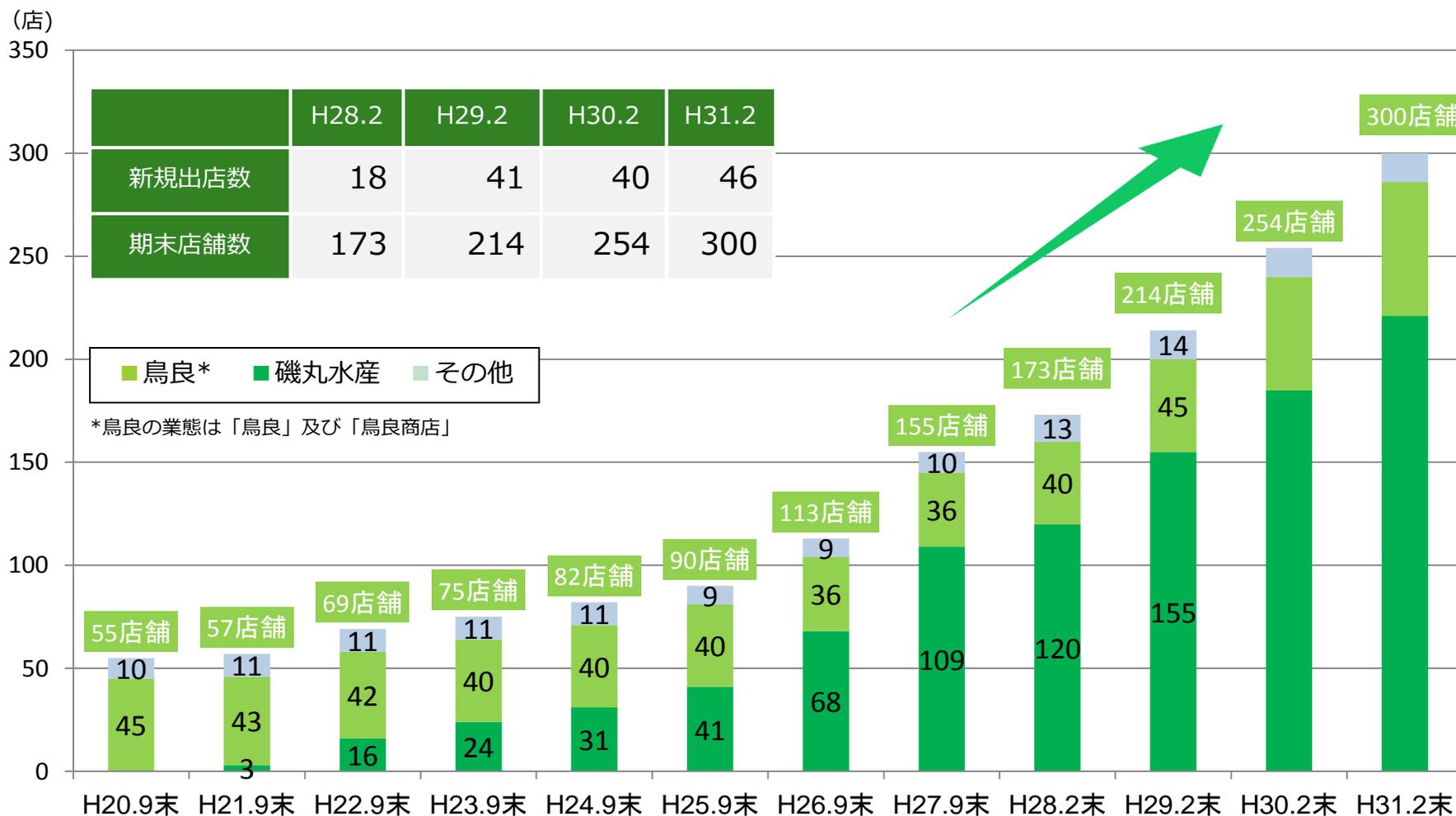
単位：百万円

	平成28年2月期 (実績)		平成29年2月期 (予想)		平成30年2月期 (予想)		平成31年2月期 (予想)	
売上高 (成長率)	14,076 (+28.2%)	100.0%	38,300 (+20.8%)	100.0%	44,500 (+16.2%)	100.0%	50,000 (+12.4%)	100.0%
経常利益	1,564	11.1%	4,100	10.7%	4,750	10.7%	5,350	10.7%
当期利益	918	6.5%	2,590	6.8%	3,020	6.8%	3,400	6.8%

(注) 平成28年2月期および平成29年2月期の成長率は未監査数値との比較のため、参考値となります

(16) 出店計画

年間40店程度の出店ペースを継続し、平成31年2月期には300店舗へ



磯丸水産と鳥良商店の2枚看板で成長を目指す



- 平成21年 1号店出店
- 都心・繁華街にドミナント出店し、ブランド確立
- 平成27年9月期 年間40店舗出店し成長を加速
100店舗達成
- 平成29年2月期～・鳥良商店と合わせ、
年間40店ペースの出店を継続
・出店エリアを拡大し日本の
居酒屋の代名詞的存在を目指す

磯丸水産



鳥良商店

- トライアル実施
「おもてなしとりよし（アッパーライン）」
「鳥良（ミドルライン）」
「鳥良商店（カジュアルライン）」
- 平成27年 好調な鳥良商店より川越店を新規出店
- 平成28年2月期 鳥良商店を4店舗新規出店
- 平成29年2月期 鳥良商店を5店舗新規出店
⇒ トライアル期から拡大期へ

(18) 業績推移

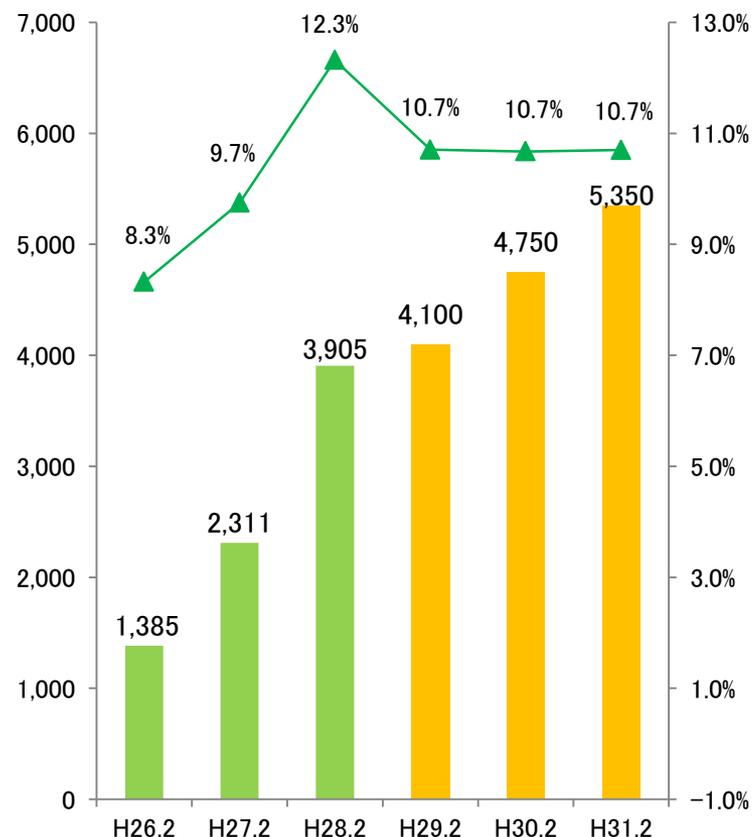
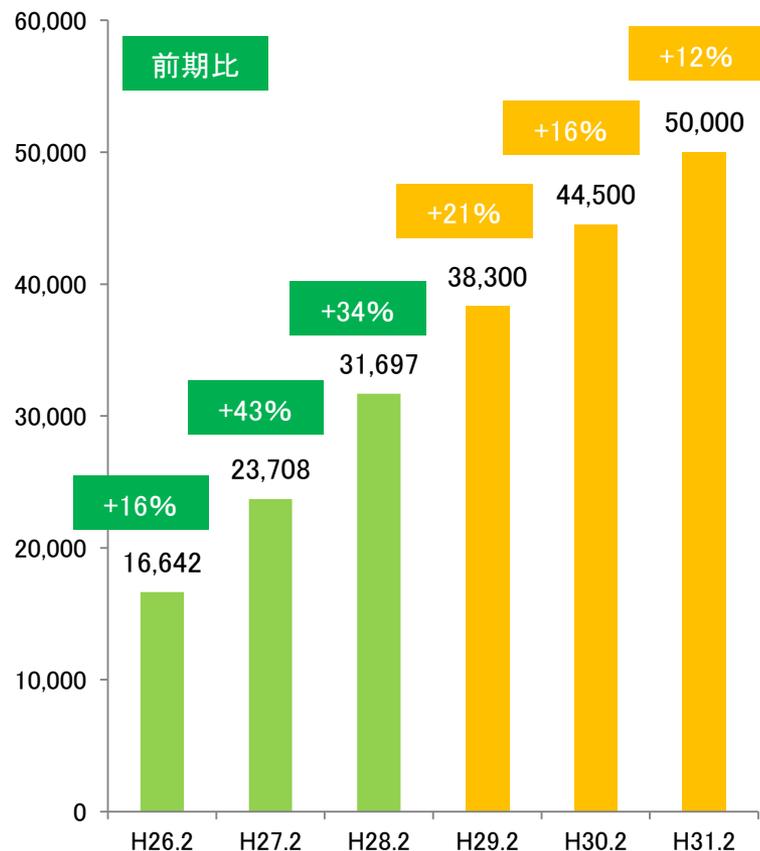
過去3年分の決算期末を2月と仮定した場合の参考値

売上高

経常利益（左軸）・売上経常利益率（右軸）

(百万円)

(百万円)



- ◆ 本資料はSFPダイニング株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- ◆ 本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されています。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。
- ◆ また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料および当社IRに関するお問い合わせ先】

S F P ダイニング株式会社

経営企画部

TEL : 03-5491-5869

ホームページ : <http://www.sfpdining.jp/>